

1. 石狩文芸同好会創立 45 周年記念講演会

俳人 松王かをり氏

「暮れ残った」のは何か ～芥川龍之介の絶筆をめぐって～



日時 9月11日(金)、午後2時～3時



場所 花川北コミュニティセンター 2F

講師紹介 松王かをり氏

新型コロナウイルスの世界的感染によって、まさに世界は一変した。この後の世界はどうなっていくのか、それがはっきりと見えている人は、おそらく一人もいないだろう。当たり前だと思っていた日常の崩壊、そんな日々の中で、誰しもが大なり小なり、「死」というものについて考えたのではないだろうか。

今回の講演では、「死」の影を背負いつつ講演旅行に来道し、そのわずか二ヶ月後、昭和2年7月24日に満35歳で自死する芥川龍之介の絶筆についてお話したいと思っている。果たして、芥川は、絶筆「水涕や鼻の先だけ暮れ残る」にどのような思いを込めたのだろうか。

〈プロフィール〉

奈良生まれ

2004年カルチャー教室で、俳句をはじめる。「圭」(主宰・津田清子)に入会。

2013年「銀化」(主宰・中原道夫)に入会

2015年「銀化奨励賞」受賞。同人。

2017年〈未来へのまなざし「ぬべし」を視座としての「鶏頭」再考一〉にて

第37回現代俳句評論賞受賞。

2018年「耳の曲線」にて第18回中北海道現代俳句賞受賞。北海道大学文学研究科修士課程修了。現在、札幌市在住。

「銀化」同人、「雪華」会員、俳句集団「itak」幹事。



2. 記念作品展

日時: 9月8日(火)～13日(日)、10時～15時

場所: 石狩市民図書館 第1研修室

問合せ 0133-73-5953 樋口